

弁護士はどのように貢献していくのか？

教育現場の実情に精通するための必読書！

新しい学校法務の 実践と理論

教育現場と弁護士の効果的な連携のために

山口卓男(弁護士) 編著

【多彩で経験・知識の豊富な執筆陣】

儀崎奈保子(弁護士、竹早学園理事) 川義郎(弁護士) 黒川雅子(淑徳大学総合福祉学部准教授) 五條堀岳史(弁護士)
坂田仰(日本女子大学教職教育開発センター教授) 神内聡(大乘淑徳学園淑徳中学高等学校社会科教諭、弁護士)

2014年11月刊 A5判 256頁(予定) 定価2,700円(本体2,500円) ISBN978-4-8178-4194-0 商品番号:40568 略号:学法

- 組織内弁護士の設置、弁護士による教員のための相談窓口の常設などの「**制度的な工夫**」について解説。
- 事件・事故の予防から発生時の混乱収束、情報管理、児童・生徒のケア、保護者との折衝、教職員の処遇等に至るまでの**専門的な法律知識・紛争解決技能**に加え、教育に関する深い理解と識見をもって学校をトータル支援する人材養成を意識した内容。

【収録内容】

第1部 学校における法律問題・紛争解決と 弁護士の関与

第1 学校紛争解決の方向性

現代社会の「法化」現象と教員特有の発想・行動様式の不整合／弁護士の伝統的思考・行動様式の限界／学校の諸問題への弁護士の関与方法／「事実認定」の扱いに見る教員と法律家の発想の違い／問題解決への組織的対応のあり方

第2 学校内弁護士の役割

「学校内弁護士」の位置付けについて／学校内弁護士の職務内容／学校内弁護士の存在意義／学校内弁護士の問題点／いじめ防止対策推進法と学校内弁護士

第3 学校紛争解決の理論的課題

学校紛争の当事者／学校と弁護士との委任契約／学校の経営主体の問題／特殊な問題～いわゆる「ブランド校」などの場合

第4 今後注目すべき学校法務領域

第2部 事例研究学校をめぐる諸問題と 法的対応

第1 保護者と学校

- 1 保護者との面談
保護者の面談要求：体罰が疑われる事案／関係者の言い分の食い違いと事実調査
- 2 保護者からの学校へのクレーム（いわゆる「クレーマー」事案）
卒業後のクレーム／クレーマーとの面談
- 3 子どもをめぐる父母間の紛争と学校の対応
別居親への対応
- 4 教職員が保護者から圧迫（被害）を受ける場合

保護者から教員個人への金銭要求

5 給食費問題

未納給食費への支払い請求など

6 PTAをめぐる問題

PTA会員間の対立

第2 生徒と教職員

- 1 生徒から教職員が被害を受ける場合
教員が生徒から暴力を受けた場合／教員が生徒と交際した場合

第3 生徒と生徒

- 1 いじめとは
教育課題としてのいじめと法的問題としてのいじめ
- 2 いじめと学校の調査義務

いじめにおける加害生徒の特定

3 いじめ事例の検討

法的責任の発生時期／いじめにおける保護者への対応／保護者・第三者との連携／いじめ問題に関する参考裁判例

第4 学校事故

- 1 学校事故——民事責任の例
理科の授業中：実験事故／プール：指導に従わない飛び込み事故／体育館：休み時間中の衝突事故／生徒間の喧嘩：間接責任の範囲／共生教育：障がいをもつ子どもが関与する事故
- 2 学校事故——刑事責任の例
教諭個人の責任：業務上過失致死罪の適否
- 3 学校事故——学校施設管理の瑕疵
施設管理の瑕疵：夜間無断侵入による事故

第5 外部の第三者と生徒

- 1 学校付近での事件・事故
不審者対策／通学路における事故／生徒と

外部の第三者の接触

- 2 近隣住民とのトラブル
部活動と近隣住民の苦情

第6 学校経営と法

1 学校経営と法令遵守

合格実績の表示方法

2 学校法人の組織再編

学校法人の事業譲渡

第7 教職員と学校

1 教職員と学校との法律関係

教員と学校外の第三者とのトラブル

2 教職員の犯罪・不法行為・非違行為等への対応

教職員の逮捕と校内対応

第8 教職員相互間のトラブルと学校のかかわり

1 ハラスメント事件における教員相互間のトラブル

教員間のトラブルと上司の対応

2 教職員同士の紛争に学校・管理者はどうかかわるか

管理者による仲裁活動

3 ハラスメントを放置した学校の責任

ハラスメント事件の訴訟対応

第9 学校における著作権・知的財産の問題

著作人人格権・同一性保持権／授業における

変更／テレビ番組の視聴とライブラリー

化／入試問題での変更：地図・年表・顔写真の著作権

第10 学校における情報管理と情報公開の問題

情報管理体制のあり方／個人情報の取得と

開示／学校の広報活動と個人情報の保護

※発刊時に内容が変更となる場合がございます。